

平成30年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 心理学 コース

（ 推 薦 入 試 ）

（ 外 国 語 試 験 ）

試 験 日 : 平成 29年 9月 3日(日)

試 験 時 間 : 9時 30分 ～ 11時 30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を裏返しにしたままにしておくこと。
2. 辞書の持込みは不可。
3. 問題1、問題2は、それぞれ別の答案用紙に解答すること。
4. 解答にあたっては、問題番号を答案用紙に明記すること。
(例:問題1－問2、問題2－(1))
5. 答案用紙がさらに必要な場合は申し出ること。

問題1 以下の英文を読み、問1～3に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典：Gleitman, H., et al. (2011). *Psychology, 8th edition*. New York: W. W. Norton & Company. Pp.40-41. より。一部改変。)

問1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。(15点)

問2 within-subject comparisons と between-subject comparisons の違いについて、日本語で述べなさい。(15点)

問3 下線部(2)を日本語に訳しなさい。(20点)

問題2 以下の(1)(2)の英文について、全文を日本語に訳しなさい。なお、人名は原文どおりの表記で構いません。(各25点)

(1)

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

(出典 : Roberts, K. P., et al. (2015). Developmental differences in the ability to provide temporal information about repeated events. *Applied Cognitive Psychology*, 29, 407. より。)

(2)

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

(出典 : Rubin, M., et al. (2016). A longitudinal study of the relations among university students' subjective social status, social contact with university friends, and mental health and well-being. *Journal of Social and Clinical Psychology*, 35, 723-724. より。一部改変。)

平成30年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

（社会人特別・推薦入試）

（外国語試験）

試験日：平成29年9月3日（日）

試験時間：9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと
3. 問題毎に答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること

問題1 次の英文を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

出典: McWillims, M. S., Vaughns, A. B., O'hara, A., Novotny, L. S., and Kyle, T. J. (2014).
Art play: Stories of engaging families inspiring learning, and exploring emotions. *Young
Children, 69(2)*, 32-39.

問題2 次の英文のAの部分に適切な人名をカタカナで入れて、全文を日本語に訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：Giardiello, Patricia (2014). *Pioneers in Early Childhood Education: The roots and legacies of Rachel and Margaret McMillan, Maria Montessorri and Susan Isaacs*, New York, Routledge. より一部
改変。

平成30年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

（社会人特別・推薦入試）

（ 専 門 試 験 ）

試 験 日： 平成 29年 9月3日(日)

試 験 時 間： 12時30分 ～ 14時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと
3. 問題毎に答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること
ただし問題内に別途指示がある場合は、それに従うこと

問題1

次の文章は、近代以前から現代にかけての「子どもへのまなざし」の変化をたどり、「私たちの子どもに対する見方は意外に混乱している」ことについて論じたものです。これを読んで、下の2つの問いに答えなさい。

(1) 「近代以前」、「近代以降」、「現代」それぞれの「子どもへのまなざし」の特徴を、文章の内容に即して論じなさい。(600字程度)

(2) 少子化にともない、子どもへのまなざしはどのように変化しているでしょうか。自分の知識や考えを入れ、また根拠を示しながら、論じなさい。(600字程度)

出典：本田和子「子どもへのまなざし」牧野カツコ編『子どもの育ちと保育 環境・発達・かわりを考える』金子書房, 2015年, pp. 3-19.

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

問題2

以下の文章は、2017年6月2日に政府が策定した「子育て安心プラン」に記されている2つの目標である。日本における「待機児童」の現況および下記2つの目標をふまえ、「待機児童」対策の課題について、あなたが考えることを述べなさい。(600字程度)

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

出典：「子育て安心プラン（平成29年6月2日）」（首相官邸ホームページ）
<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/taikijido/pdf/plan1.pdf>（最終アクセス 2017/7/18）

問題3

次の用語あるいは人名のうち2語を選び、それぞれ300字程度で説明しなさい。選択した語ごとに別の答案用紙を使用し、問題番号に加え語の番号も明記して答えること。

- (1) ポートフォリオ
- (2) 仮説生成型研究
- (3) ヘッドスタート計画
- (4) ピアジェ (Piaget, J.)
- (5) 保育教諭